



I 第37週の発生動向 (2023/9/11~2023/9/17)

- ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内で**警報**が継続しています。一方、東地方+青森市保健所管内及び五所川原保健所管内の**警報**は**解除**となりました。
- 咽頭結膜熱については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。
- 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状況です。

II 第37週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	2	0.17			5	0.38			7	0.78	9	1.50	23	0.38	-18
	新型コロナウイルス感染症※	115	9.58	149	11.46	271	20.85	88	12.57	234	26.00	110	18.33	967	16.12	-284
小児科	RSウイルス感染症	2	0.29			1	0.13	2	0.40					5	0.13	3
	咽頭結膜熱	5	0.71						3	0.50	1	0.25	9	0.24	3	
	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	6	0.86	2	0.25	6	0.75						14	0.37	9	
	感染性胃腸炎	12	1.71	19	2.38	42	5.25	9	1.80	11	1.83	1	0.25	94	2.47	-9
	水痘	1	0.14	1	0.13			2	0.40					4	0.11	2
	手足口病	11	1.57	9	1.13	1	0.13	14	2.80	3	0.50			38	1.00	2
	伝染性紅斑															-2
	突発性発しん	2	0.29	3	0.38	7	0.88	1	0.20	1	0.17			14	0.37	10
	ヘルパンギーナ	9	1.29	23	2.88	5	0.63	5	1.00	2	0.33	2	0.50	46	1.21	-40
	流行性耳下腺炎			1	0.13									1	0.03	1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎								2	1.00			2	0.20	2	
基幹	感染性胃腸炎(ロウウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										4	4.00	4	0.67	3	
	無菌性髄膜炎															0

※新型コロナウイルス感染症については、青森県庁ホームページ「新型コロナウイルス感染症について」をご覧ください。

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/covid19.html>)

また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に関しては、保健衛生課 (TEL:017-734-9871) にお問い合わせください。

感染症の窓

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。冬から春にかけて発生しやすい感染症ですが、年間を通じて患者の発生がみられます。

主な症状は発熱と発疹で、9歳以下での発症が90%以上を占めると言われています。健康な小児が罹患した場合は軽症で予後は良好であることが多いですが、免疫不全状態の小児が罹患した場合は、重症化しやすく、致死経過をとる場合があります。

青森県内の過去10年間における水痘(入院例)の報告数の推移は図のとおりであり、報告数として多くはないものの、空気・飛沫・接触感染により広がるため、乳幼児や学童では注意が必要です。

水痘にはワクチンがあり、平成26年10月から定期接種で受けられるようになりました。1回目の接種は標準的には生後12月から生後15月までの間に、2回目の接種は標準的には1回目の接種から6月から12月経過してから行うこととなっていますので、忘れずに受けるようにしましょう。

水痘

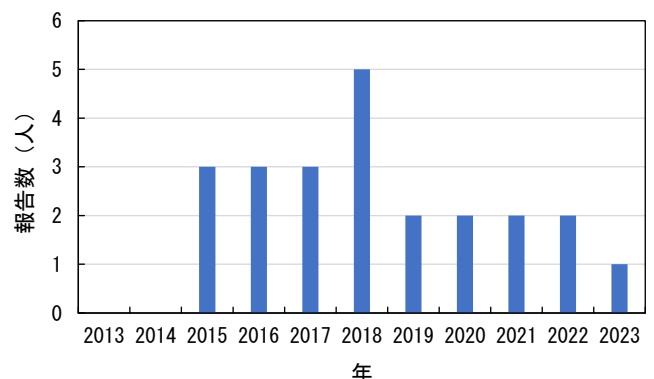


図 青森県内における過去10年間の水痘(入院例)の報告数の推移

○詳しい情報はこちらをご覧ください。👉[水痘\(厚生労働省HP\)](#)



Ⅲ 全数把握対象疾患

報告はありませんでした。

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2023年第34週～2023年第37週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34		破傷風1人				カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人
35					梅毒1人	百日咳1人
36	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人	水痘(入院例)1人			カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	
37						

第36週に青森市保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人、侵襲性肺炎球菌感染症1人の届出がありましたので、追加しました。

Ⅵ 結核(二類感染症) (2023年第34週～2023年第37週)

(人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	1	1			1	1
35			2		1	
36	1	1	1			
37						

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2023年第1週～第36週までの累計）

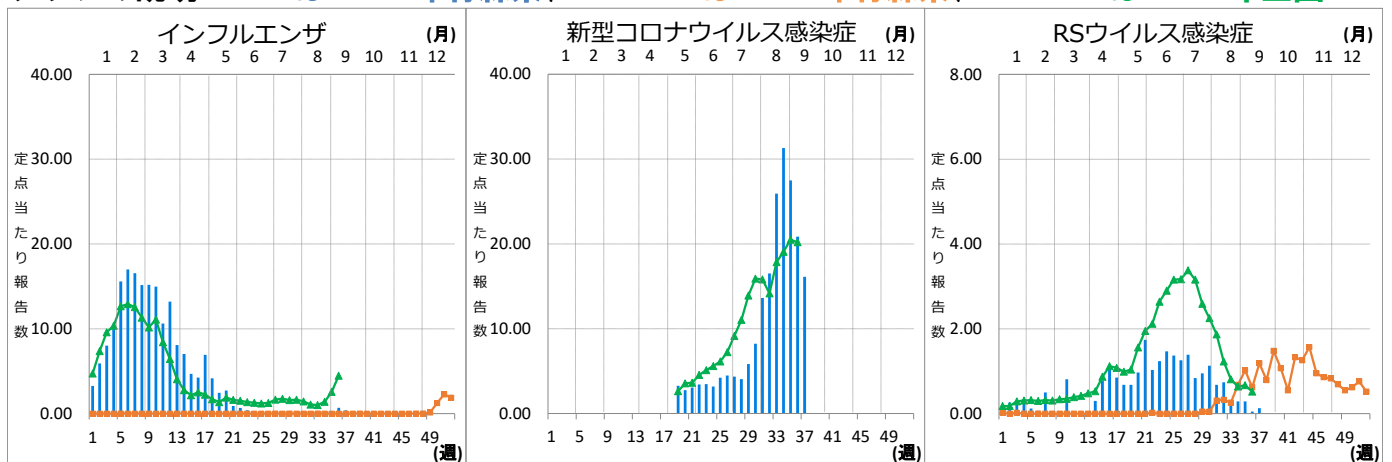
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス
累積報告数	9641	2	27	2475	28	6	394	35	10	189
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア
累積報告数	7	17	1	111	2	114	88	291	1	16
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	22	1476	23	351	176	1311	43	377	7	107
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	578	655	32	388	11	1232	258	10396	119	73
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
累積報告数	83	645	10	26	11					

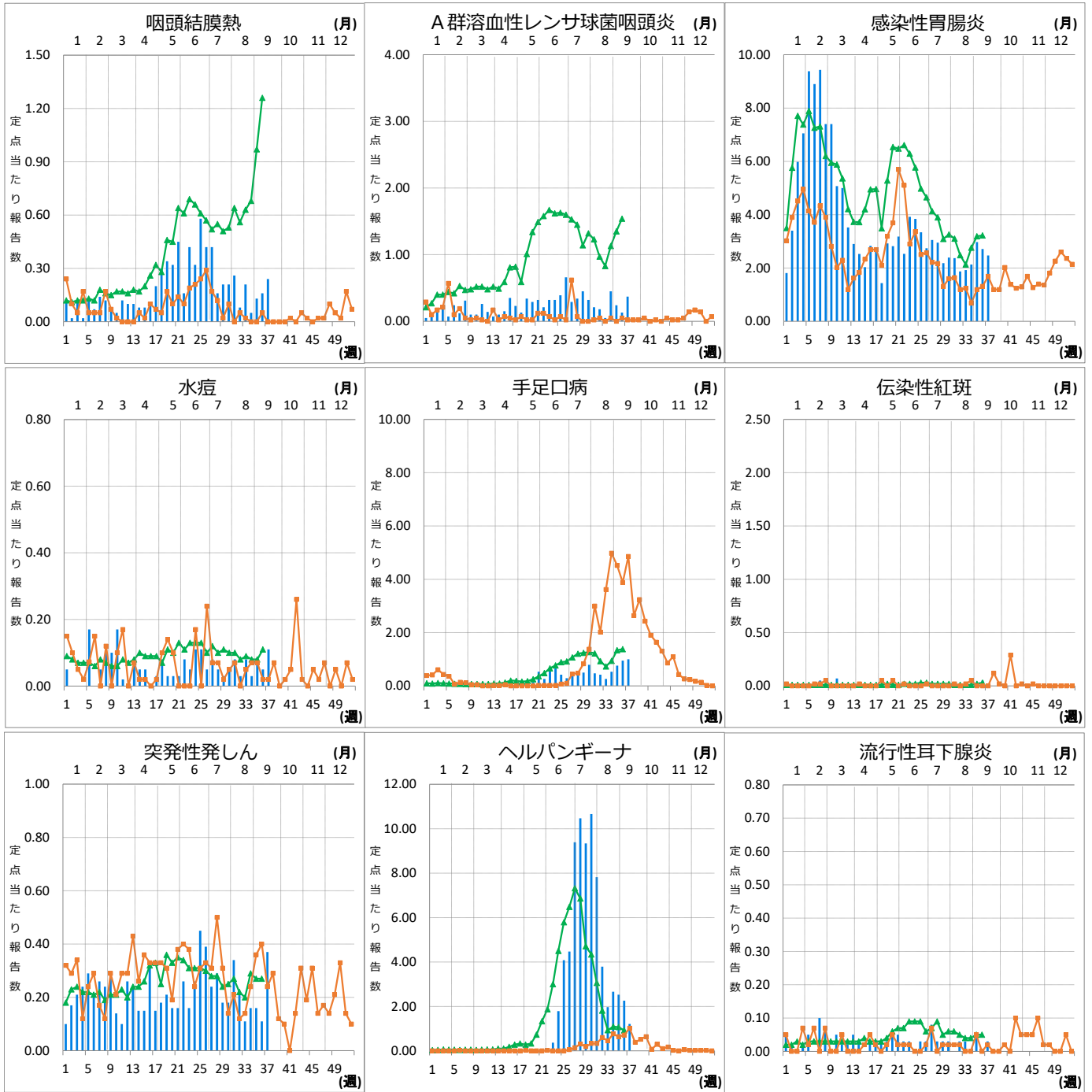
青森県（2023年第1週～第37週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	81	11	2	8	8	1	2	21	1	2
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	
累積報告数	8	2	1	15	1	21	3	1	7	

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2023年第37週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2023年青森県、 は2022年青森県、 は2023年全国





Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2023年第37週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は 2023年青森県、 は 2022年青森県、 は 2023年全国

